

No	16	分類	3-(2)-ア	資料名	自分もOK、みんなもOK	学年	6年	領域	特別活動（学級活動）
----	----	----	---------	-----	--------------	----	----	----	------------

### 1 ねらい

- 集団で生活する中では、自分の意見や願いのみを主張するのではなく、相手の立場や考えに配慮して行動することが大切であることを理解する。

### 2 趣旨

- 意見がぶつかり合う場面を設定し、ロールプレイやカード選択の活動を通して、双方の立場に配慮した意見を主張する方法や、自分の意見や願いが実現されるためにはどのような役割や責任を果たす必要があるかを考えさせる。
- 自分の権利を主張するだけでなく、お互いに役割や義務を果たす必要があることを理解させ、自分の人権を守るためには、他の人の人権も大切にしなければならないことを理解させる。

### 3 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 「ほく」と「友だち」に分かれてロールプレイをする。	・それぞれの「言い分」の正当性を認識させる。
「ほく」と「友だち」の役わりになって、それぞれの「言い分」を言ってみましょう。	
○ 自分もOK、みんなもOKになる方法（言い方）はないかを考える。	・一方的な権利の主張だけでは物事が解決しないことを理解させる。 ・まず、お互いを認め合う気持ちが必要であることに気づかせる。 ・アサーションについて考えさせる。
2 「くらしカード」と「行動カード」を使って考える。	
「くらしカード」と「行動カード」を使って、自分たちのくらしを考えてみましょう。	
○ グループごとに違う「くらしカード」を一枚選び、それが実現されるための「行動カード」を選ぶ。 ○ グループごとに、選んだ「行動カード」について発表する。 ○ 意見交換をする。	・「くらしカード」1枚に対して、「行動カード」は何枚選んでもよいことを伝える。 ・他に必要なカードはないか考えさせ、「行動カード」をつけ加えながら意見交換をさせる。
3 それぞれの「くらしカード」に、重なって選ばれる「行動カード」はどんなカードかを話し合う。	・「他の人の話を最後まで聞く」等、共通して必要な行動があることに気づかせる。
4 お互いが気持ちよく生活するためには、どんなことに気をつけなければならないか、まとめをする。	・相手を大切にするためには、コミュニケーションの技能が必要であることを認識させる。 ・自分が認められると気分がよく、がんばる意欲がわくことから、他の人の良さを認め、それを伝えあっていくことが必要であることを理解させる。